

沿岸定線観測速報 ちば (2021年7月)

千葉丸：7月6~9日

千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

令和3年7月30日

黒潮は房総沖でやや接岸し、北東に流れていました(図2)。
水温は、水深0~200mまでおおむね平年並でした(表1)。

(詳細)

水深10mの水温は20~25℃で、水深50,100mでは岸から沖に向かって水温が急激に高くなっていました(図3)。また、水深10mの塩分は34PSU以下と低めでした(図4)。この低塩分水は、ごく沿岸の表層に薄く(深くても水深30mまで)分布していたので(図6)、7月1~3日の降水によるものと考えられます。一方、犬吠埼沖の水深400m以深には、親潮由来の低温低塩分水(7℃以下、34.2PSU以下)が4~6月に引き続き見られました(図5,6)。

海面の流れは、黒潮北縁付近では3~4ノット、それより岸近くでは1ノット以下でした(図2)。

クロロフィル濃度は、九十九里沖の水深10mで3~5μg/Lと高めでした(図7)。

キンメダイ漁場の水温は、勝浦沖の150m以深、銚子沖の100m以深では2019年7月とほぼ同様でした(図8)。また、海面の流れは、勝浦沖1.5ノット、銚子沖2.5ノットで、いずれも北東へ向かう流れでした。

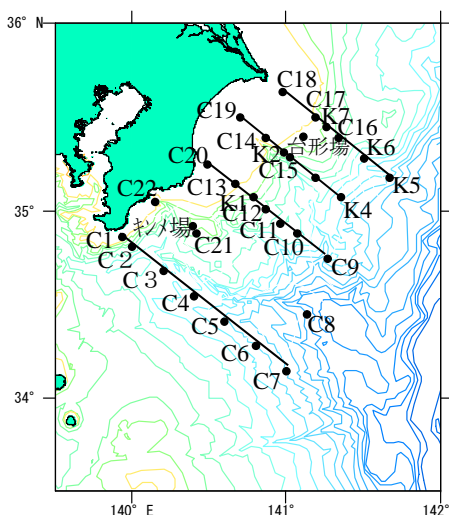


図1 調査点

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島崎南東線

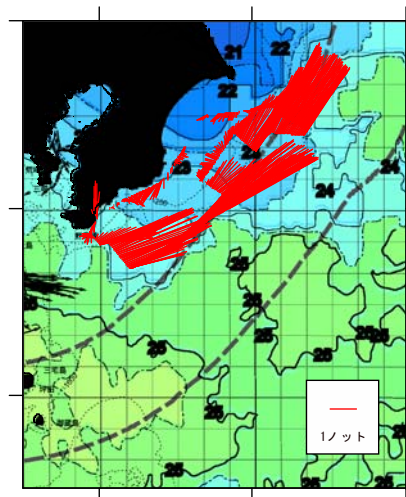


図2 観測時の海況
(破線は黒潮流路)

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	22.5 平年並	18.5 平年並	15.8 平年並	13.5 平年並
外房	23.2 平年並	16.6 平年並	14.7 やや低め	13.2 平年並

*沿岸水温評価の目安(σ:標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ ~
高め	1.3 σ ~ 2.0 σ
やや高め	0.6 σ ~ 1.3 σ
平年並み	0.0 σ ~ 0.6 σ
平年並み	-0.6 σ ~ 0.0 σ
やや低め	-0.6 σ ~ -1.3 σ
低め	-1.3 σ ~ -2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ ~

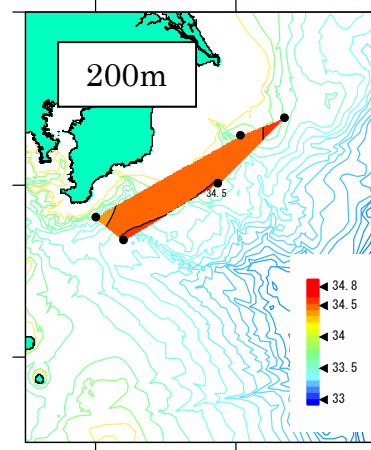
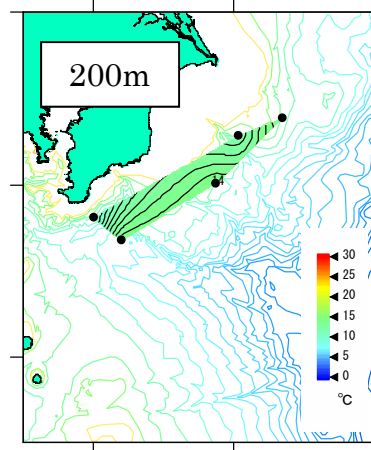
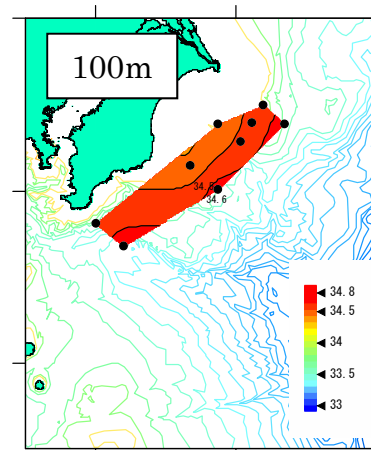
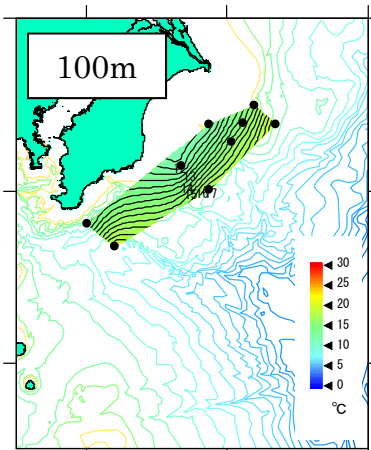
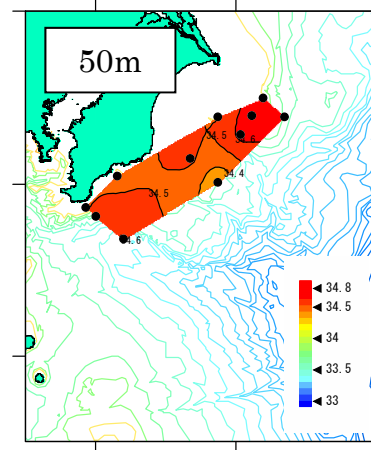
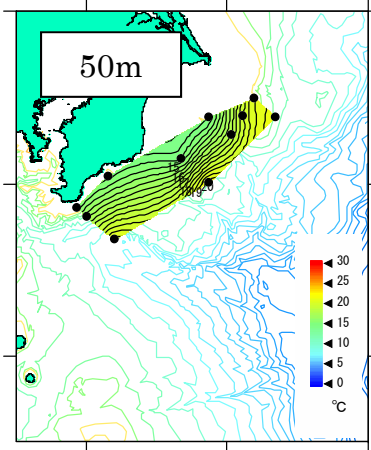
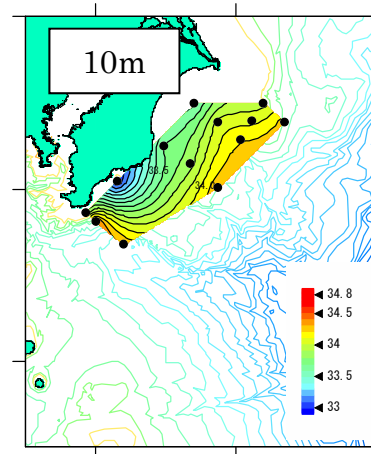
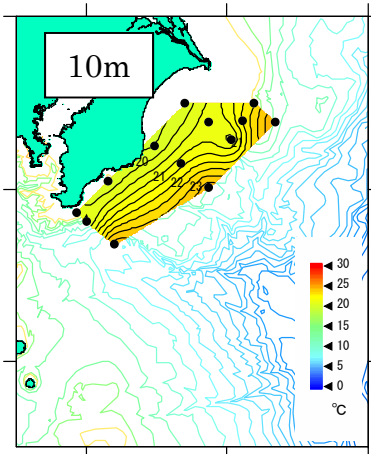


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

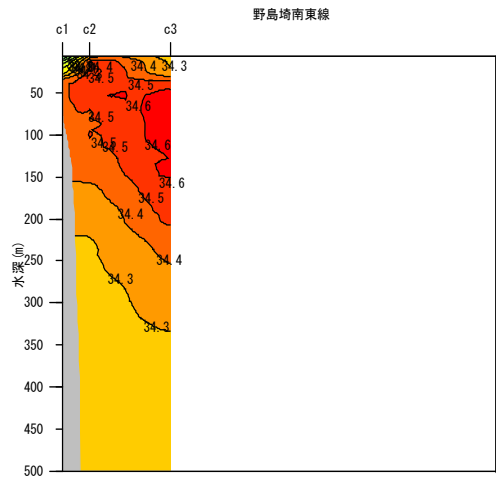
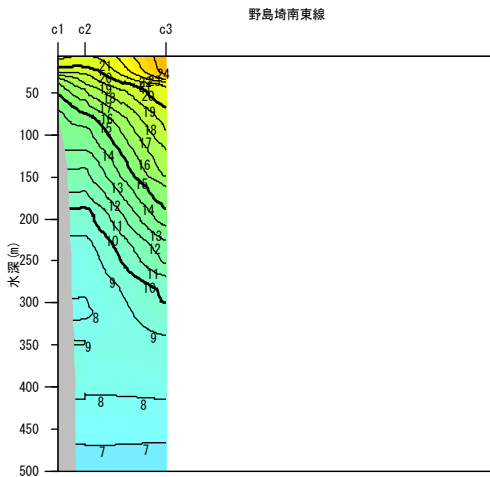
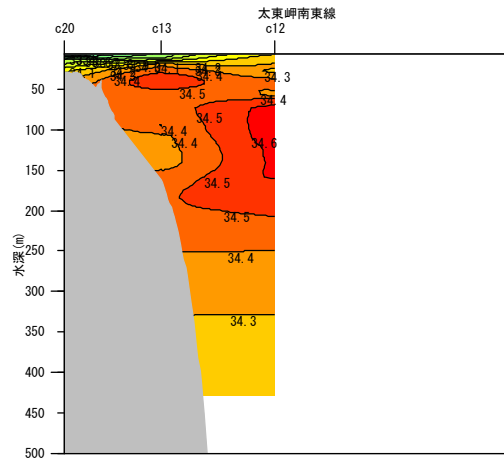
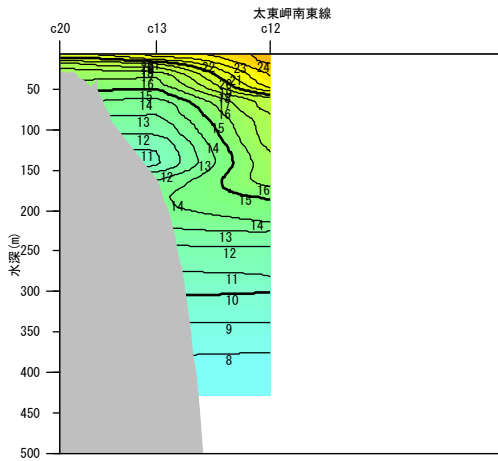
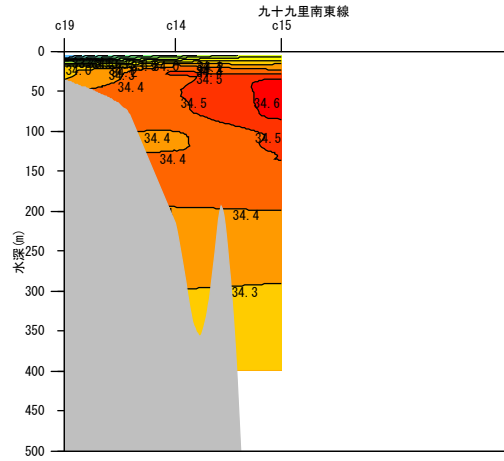
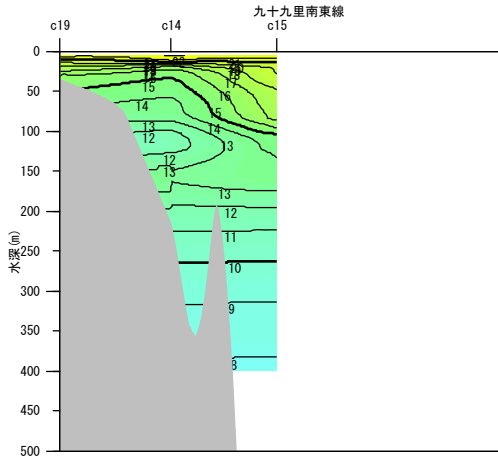
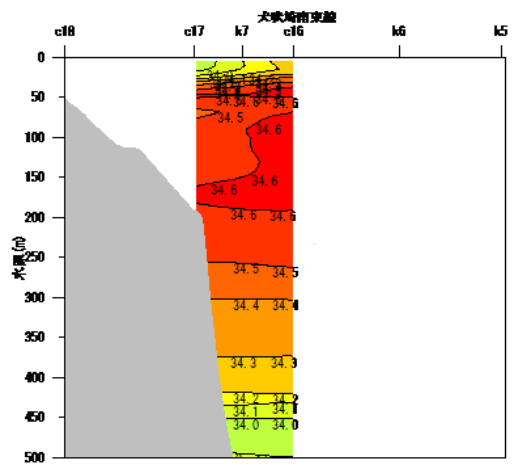
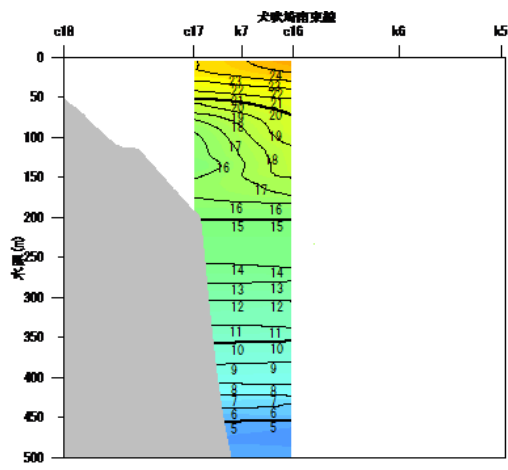
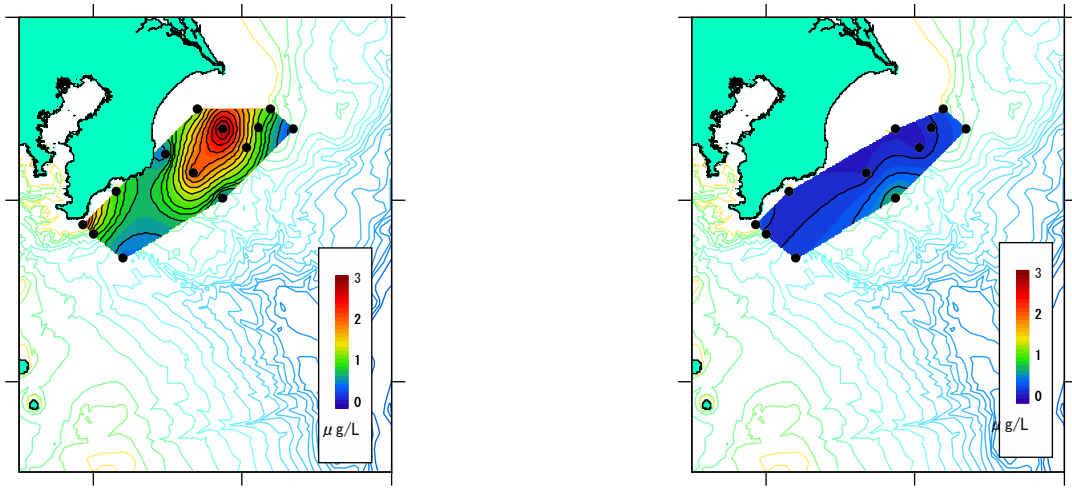


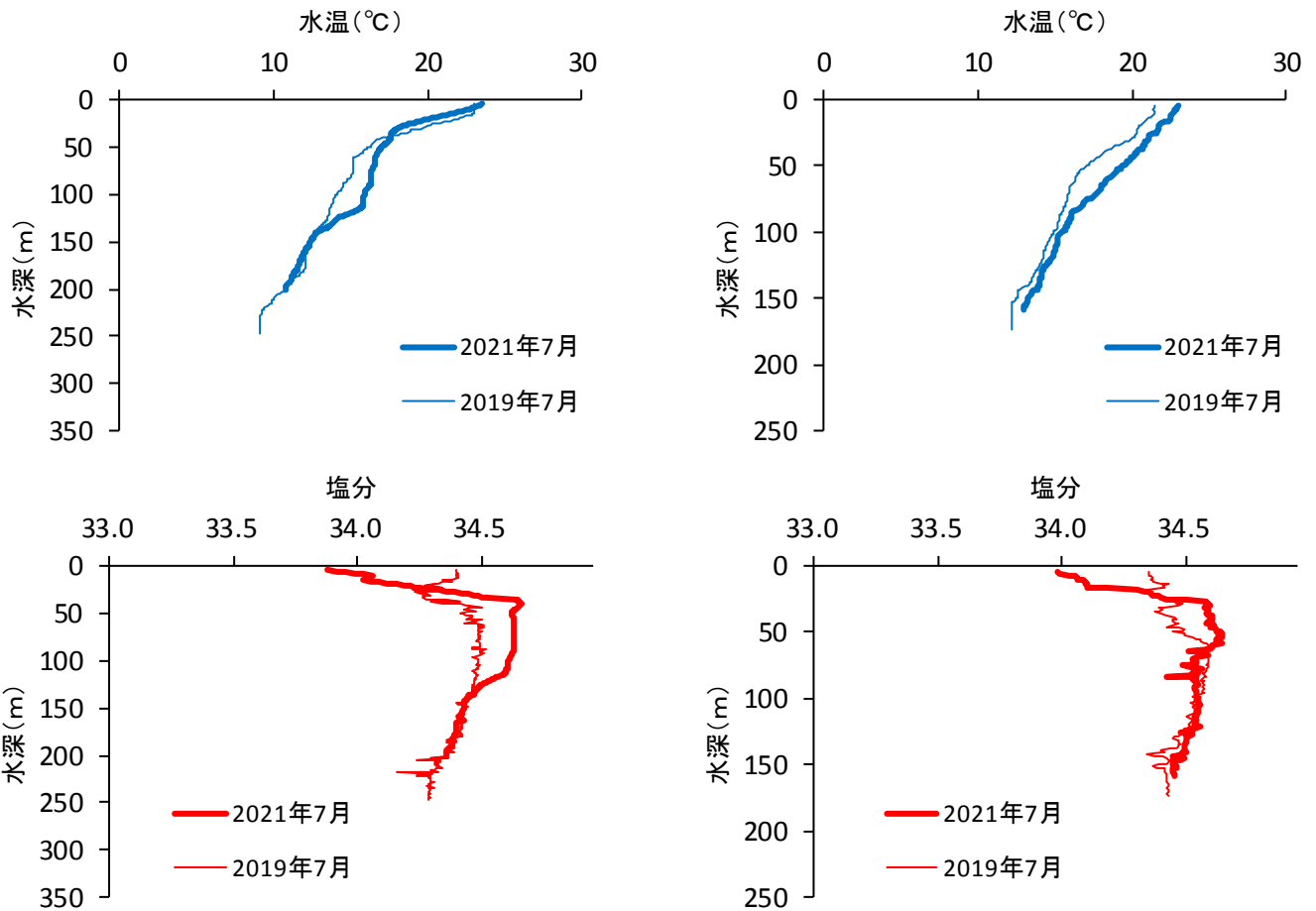
図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）



10m 50m
 図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分。2020年7月は欠測)

<資料> 関東・東海海況速報 (図2; 7月6日分)